

<p>4 5</p>	<p>1 学習課題を確認する。</p> <p>5 奈良時代について、分かったこと、気付いたこと、考えたことから、天皇が約1500年も続いている理由を考えよう。</p> <p>2 奈良時代の歴史的な事象について、調べて分かったことや調べてみたい疑問等を個別のワークシートに書き出す。</p> <p>3 2で書き出した事象を付箋に書き、それらがどの視点に当てはまるものなのかを、班の友達と話し合いながらワークシートに分類して貼る。</p> <p>4 分類した事象同士の関連を考え、そこから奈良時代の特色を考える。</p> <div data-bbox="287 616 845 896" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習課題】</p> <p>【本時の課題】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">① <政治のこと></td> <td style="width: 50%;">② <人々のくらし・社会></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">↑ 追究する四つの視点 ↓</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">③ <他の国との関わり></td> <td style="width: 50%;">④ <文化のこと></td> </tr> </table> </div> <p>5 奈良時代の学習を基に、学習課題について自らの考えをまとめる。</p> <p>6 奈良時代の特色について、個人で考えてまとめる。</p>	① <政治のこと>	② <人々のくらし・社会>	↑ 追究する四つの視点 ↓		③ <他の国との関わり>	④ <文化のこと>	<ul style="list-style-type: none"> 飛鳥時代のまとめの中で、追究する視点に着目して飛鳥時代の特色を捉えている生徒の例を取り挙げることで、本時の学習の見通しをもてるようにする。 年号に着目することで「令和」が「大化」から続いていることに気付くようにする。 飛鳥時代の学習の流れを継続し、奈良時代について調べて分かった事象を、ブレインライティング方式で書き出すようにする。 付箋に書き出す際の留意点を伝え、安心して取り組める雰囲気をつくりだす。 生徒の疑問や気付きを学級全体に問いかけて、生徒間の交流を促す。 奈良時代の特色をまとめる際には、四つの視点に分類した事象や関連付けられた事象等を基に、まとめるようにする。 <p>◎奈良時代について、追究の視点を基に考察している。 (思考・判断・表現)【ワークシート】</p>
① <政治のこと>	② <人々のくらし・社会>							
↑ 追究する四つの視点 ↓								
③ <他の国との関わり>	④ <文化のこと>							
<p>6</p>	<p>1 学習課題を確認する。</p> <p>飛鳥時代から奈良時代の学習から、分かったこと、気付いたこと、考えたことを基に、天皇が約1500年も続いている理由を考えよう。</p> <p>2 これまで学習してきた事象を付箋に書き、それらがどの視点に当てはまるものなのかを、班の友達と話し合いながらワークシートに分類して貼る。</p> <div data-bbox="287 1276 813 1601" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習課題】</p> <p>【本時の課題】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">① <政治のこと> 飛鳥時代 奈良時代</td> <td style="width: 50%;">② <人々のくらし・社会> 飛鳥時代 奈良時代</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">③ <他の国との関わり> 飛鳥時代 奈良時代</td> <td style="width: 50%;">④ <文化のこと> 飛鳥時代 奈良時代</td> </tr> </table> <p>⑤ 四つの視点と時代の推移を踏まえて、時代の特色をまとめる。</p> </div> <p>3 班の友達と前後の時代を比較し、事象同士の推移や関連について話し合う。</p> <p>4 飛鳥時代から奈良時代までの学習を基に、学習課題についての自らの考えをまとめる。</p>	① <政治のこと> 飛鳥時代 奈良時代	② <人々のくらし・社会> 飛鳥時代 奈良時代	③ <他の国との関わり> 飛鳥時代 奈良時代	④ <文化のこと> 飛鳥時代 奈良時代	<ul style="list-style-type: none"> 奈良時代のまとめの中で、追究する視点に複数着目して奈良時代の特色を捉えている生徒の例を取り挙げることで、本時の学習の見通しをもてるようにする。 歴史の大きな流れを意識できるように、前後の時代の比較、推移、事象同士の関連に着目するようにする。 考えが抽象的になっている生徒には「例えば?」「つまり?」「理由は?」等と問いかけることで思考を促す。 <p>◎飛鳥時代から奈良時代までの推移から、追究の視点を基に学習課題に対する考察している。 (思考・判断・表現)【ワークシート】</p>		
① <政治のこと> 飛鳥時代 奈良時代	② <人々のくらし・社会> 飛鳥時代 奈良時代							
③ <他の国との関わり> 飛鳥時代 奈良時代	④ <文化のこと> 飛鳥時代 奈良時代							
<p>7 8</p>	<p>1 学習課題を確認する。</p> <p>8 飛鳥時代、奈良時代と比べて平安時代について、分かったこと、気付いたこと、考えたことから、天皇が約1500年も続いている理由を考えよう。</p> <p>2 平安時代の歴史的な事象について、調べて分かったことや調べてみたい疑問等を個別のワークシートに書き出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時のまとめの中で、追究する視点に複数着目している生徒の例を取り上げることで、本時の学習の見通しをもてるようにする。 奈良時代までの学習の流れを継続し、平安時代について調べて分かった事象を、ブレインライティング方式で付箋に書き出すようにする。 						

	<p>3 2で書き出した事象を付箋に書き、それらがどの視点に当てはまるものなのかを、班の友達と話し合いながらワークシートに分類して貼る。</p> <p>4 分類した事象同士の関連を考え、そこから平安時代の特色を考える。</p> <p>5 平安時代の学習を基に、学習課題について自らの考えをまとめる。</p> <p>6 平安時代の特色について、個人で考えてまとめる。</p>	<p>・飛鳥時代、奈良時代と比較し、推移、比較、事象同士の関連に着目して考えるようにする。</p> <p>◎これまでの時代と比較して、平安時代の特色について、追究の視点を基に考察している。</p> <p>(思考・判断・表現)【ワークシート】</p>																																								
<p>9 本時</p>	<p>1 学習課題を確認する。</p> <p>どうして、日本には約1500年もの間、天皇がいるのだろう。</p> <p>2 これまでの学習で用いた付箋を、班の友達と対話しながら、新たなワークシートに時系列・視点ごとに再構成して貼り直す。</p> <table border="1" data-bbox="288 696 842 1048"> <thead> <tr> <th colspan="5">【学習課題】</th> </tr> <tr> <th></th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> <tr> <th>時代</th> <th>中心人物</th> <th>政治のこと</th> <th>人々のくらし 社会の様子</th> <th>他の国との 関わり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">【古代とは、「 なぜなら(理由)は」 5 古代の特色について、再構成して考えたことをまとめる。】</td> </tr> <tr> <td colspan="5">6 現在とのつながりに着目した学習課題についての考えをまとめる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 古代の特色と学習課題についての考えを、班や学級全体で話し合い、多様な考えを知る。</p> <p>4 これまでの学習を踏まえ、古代の特色と現在とのつながりに着目した学習課題について、自らの考えをまとめる。</p>	【学習課題】						①	②	③	④	時代	中心人物	政治のこと	人々のくらし 社会の様子	他の国との 関わり																【古代とは、「 なぜなら(理由)は」 5 古代の特色について、再構成して考えたことをまとめる。】					6 現在とのつながりに着目した学習課題についての考えをまとめる。					<p>・これまでの学習を踏まえて、本時の最後に、古代の特色についての考えと現在とのつながりに着目した学習課題について考えをまとめることを確認する。</p> <p>・複数の時代を比較し、歴史的事象を時系列で捉えやすくするため「時代」「中心人物」を新たな視点に加えたワークシートを活用する。</p> <p>・事象同士を関連付けて線で結んだり、付箋の貼る位置を工夫したりすることで、歴史の大きな流れを捉えるようにする。</p> <p>・古代の特色と現在とのつながりに着目した学習課題について考えをまとめる際には、自らの考えに友達や学級全体での話し合いを踏まえて、まとめるようにする。</p> <p>◎天皇を中心とした国づくりが展開されて、その後の時代につながっていることを考察し表現している。</p> <p>(思考・判断・表現)【振り返り】</p> <p>◎大陸の文化を積極的に取り入れて、国家の仕組みが整えられたことを、様々な資料を活用して理解している。</p> <p>(知識・技能)【ワークシート】</p>
【学習課題】																																										
	①	②	③	④																																						
時代	中心人物	政治のこと	人々のくらし 社会の様子	他の国との 関わり																																						
【古代とは、「 なぜなら(理由)は」 5 古代の特色について、再構成して考えたことをまとめる。】																																										
6 現在とのつながりに着目した学習課題についての考えをまとめる。																																										